

謝罪広告

以下の各記事について、記事掲載を撤回し、関係者に対して陳謝いたします。

●本誌通巻299号において「追跡レポート 来月に控えた伊達市議選で須田政権与党はどんな顔ぶれになるのか？」と題する記事を掲載し、同記事に記載された、

(1)池田敏博殿について、同氏が詐欺師であるとした点、同氏が衆議院議員に立候補した際に、関する金銭の借入れや返済に関する内容の一切、

(2)医療法人秀浩会の運営する池田皮膚科クリニックについて、怪しい美容整形を行っているとした点、化粧品が他社と比べて

数倍高いとした点、医療ミスによる訴訟を抱えているとした点、(3)株式会社ダーマルラボについて、同社の化粧品が他社と比べて数倍高いとした点

について、事実と反する内容であったことを認め、上記掲載内容を全て撤回するとともに、関係者に対して深く陳謝いたします。

●本誌通巻315号において、「梁川町ヒ素汚染の実態 梁川町の誘致企業によるヒ素汚染は何処までなのか？」と題する記事を掲載し、同記事に記載された、

(1)池田敏博殿について、記者が母親から五百万円を借りた上で同氏に融資し返還約束を取り付けたが反故にされ、今日にいたるまで逃げ回られたとする点、記者が最も許せないのは白を切っている敏博殿本人であるとし、敏博殿が記者から借り入れをし返済していないとする点、

(2)池田順子殿について、同氏が不倫関係にあったとする点、

(3)池田秀幸殿について、ダーマルラボの店長選びが同氏のタイプの女性が選ばれているとする点、同氏との関係によって妊娠した女性がいたとする点。 について、事実と反する内容であったことを認め、全て撤回するとともに関係者に深く陳謝いたします。

また、記事中、敏博殿について「ウソツキの兄、順子殿について「ふしだら」と不適切な表現を使用したことを陳謝いたします。

●本誌通巻317号において、「真夏のマラソン開催の是非 伊達ももの里マラソン大会で心肺停止事故発生」と題する記事を掲載し、同記事に記載された、池田順子殿について、「この順子氏は倫理観に欠ける面が多々見られることが以前より語られている。兄敏博の衆議院選挙を手伝った際には、その時に自分も結婚して子供を設けていたというのに、筆頭秘書のこれも妻子持ちのO-I(故人)と不貞行為をはたらいたばかりか、解体される前の善治町長自宅二階にあった順子氏の自室で、選挙期間中そのような交渉をもっていったのである。信じ垂れない感覚の持ち主である(本誌三一五号を参照)。」

との記事内容は、事実と反する内容であったことを認め、全て撤回するとともに池田順子殿に対して深く陳謝いたします。

●本誌通巻318号において「真夏のマラソン開催の是非 後遺症に苦しむ倒れた女性ランナーのその後第2弾」と題する記事を掲載し、同記事に、池田順子殿の写真とその下に「ふしだらな池田順子」と掲載しまし

たが、同氏についてふしだらと評価する根拠はなく、根拠のない中傷表現でありました。

ここに、上記掲載内容を全て撤回するとともに、池田順子殿に対して深く陳謝いたします

●本誌通巻321号において、「内堀知事に公職選挙法違反の疑い」と題する記事を掲載し、同記事に記載された、

(1)池田敏博殿について、武田正博が同氏に金銭を貸し渡したとする点、同氏が返済の約束を反故にしたとする点、同氏が大嘘つきとする点、

(2)池田順子殿について、不貞行為をしていたとする点、及びふしだらとする点、

(3)池田秀浩殿及び池田浩之殿についてふしだらなところが池田順子殿に似ているとした点 について、いずれも事実無根又は根拠のない中傷表現でありました。

ここに、上記掲載内容を全て撤回するとともに、関係者に対して、深く陳謝いたします。

●本誌通巻321号において「混合診療とは？一般に分かり

にくい混合診療とは何？」と題する記事を掲載し、同記事に、医療法人秀浩会が運営する池田皮膚科クリニックが混合診療を行っているとの内容を掲載しましたが、かかる内容は事実無根でありました。

また、株式会社ダーマルラボが、混合診療に関与しているように読める記事内容も掲載しましたが、これも事実無根でありました。

ここに上記掲載内容を全て撤回するとともに、関係者に対して、深く陳謝いたします。

令和5年●月●日

有限会社タクティクス
代表取締役
(本誌編集人兼発行人)

武田 正博

池田敏博殿

池田順子殿

池田秀幸殿

医療法人秀浩会 御中

株式会社ダーマルラボ 御中